

A-1 横浜メダカってなんだろう？

～絶滅危惧種メダカを通して持続可能な社会の実現に取り組もう～

講義担当:横浜メダカの会

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	1年～6年理科・生活科・横浜の時間		
関連のあるSDGsのゴール	15 陸の豊かさを守ろう		オンライン授業 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	1校時から6校時		
年間実施上限数	15回(日程があれば15回を超えても開催できます。)		
講座実施方法 ※()は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(屋内:パソコン、プロジェクターが利用できる教室) <input type="checkbox"/> ワークショップ() <input checked="" type="checkbox"/> 自然体験(理科室など、顕微鏡で観察できる部屋)		
講座所要時間	45分		
実施条件、必要な準備等	大型テレビ、プロジェクター、顕微鏡等		

講座内容

1. 本講座の目的・ねらい

横浜メダカの雌雄の特徴、発生・成長について、予想や仮説を基に観察を通して理解するとともに、世界のメダカや絶滅危惧種の保存活動を通して多様性・食物連鎖等の視点から持続可能な社会の実現について学びます。

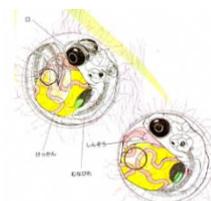


図 岩松鷹志

2. 内容(実施時間に応じて内容を調整します。)

- ・主な内容
- ・5年理科「メダカのたんじょう」では、メダカの卵や成体の観察を通して、卵の成長や、雌雄の違い・体のつくりについて学習します。
- ・6年理科「食物どうしのつながり」では、「池や川の水中の小さな生物」(ミジンコ等)を観察したり、メダカが捕食する様子を観察したりして、小さな生物を出発点とした食物連鎖の繋がりを学びます。
- ・「横浜の時間」では、「世界のメダカ」の紹介や「横浜メダカ等を保存するビオトープづくり」など、学校で飼育しているメダカや絶滅危惧種横浜メダカ等を保存する活動を通して持続可能な社会の実現に取り組みます。



問合せ先:横浜メダカの会(有馬 武裕) TEL:090-4429-9623

メールアドレス:tarima1@outlook.jp